

ニュース

第186号

発行日 平成28年8月5日
発行者 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資
〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中431-20
電話 0299 (69) 2222
FAX 0299 (69) 2237
ホームページ <http://nakadaiikushinen.jp/>

今月の生活目標

【単 元】

- お母さん
- 日常の礼儀

【目 標】

- 母や家族の人達の生活や苦労を知り、感謝する態度を養う。
- 日常の礼儀作法を身につける。



「地域における公益的な取組について」

園長 千葉 桂資

平成28年6月1日付社援基発0601第1号厚生労働省社会・援護局福祉基盤課長通知において、「地域における公益的な取組」の考え方が示されました。

改正社会福祉法では、「社会福祉法人は、(略)公益事業を行うにあたっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならない。」と全ての社会福祉法人の責務として規定しています。この公益的な取組は、次の①②③の全ての要件を満たす必要があります。

- ① 社会福祉事業又は公益事業を行うに当たって提供される福祉サービスであること。
 - ② 日常生活又は社会生活上の支援を要する者に対するものであること。
 - ③ 無料又は低額な料金で提供されること。
- 現行の福祉サービスは、福祉法人に限らず、株式会社、NPO法人等の多様な事業所が参入しています。社会福祉法人だけが税制上の優遇措置

を受けていることへの批判や内部留保を一色単に余裕財産だと捉えられがちな問題が背景にあります。

そこで、営利企業等では実施することが難しい、既存の制度(社会福祉事業)の対象とならない地域の福祉ニーズに対応したサービスを社会福祉法人が無料又は定額な料金で提供するものが求められ、「地域における公益的な取組」を社会福祉法人の責務としたわけです。

では、具体的にどのような取組をしたらよいのでしょうか。一法人一施設の当園の場合、職員さんは施設利用者の個別支援(日中活動、余暇支援、通院、介護等)や施設行事、地域行事への参加、煩雑な事務作業で一年間追われています。施設利用者の高齢化・重度化による支援の多様性により、公益的な取組の頻度によっては人手が割かれ、本来の事業に



デイジーといっしょ♥
(東京ディズニーシー)

影響を及ぼすことも懸念されます。

該当性を判断する参考例が通知の中で示されています。例えば、「地域の障害者、高齢者との住民の交流を目的とした祭りやイベントなど地域福祉の向上を目的とした活動は該当し得ますが、当該法人の施設入所者と住民の交流活動は、該当しません。」「子育て家族への交流の場の提供は該当し得ますが、地域住民に対するグラウンドや交流スペースの提供は該当しません。」「法人が介護保険サービスに係る利用者負担を軽減するものについては該当します。」など。

布団乾燥車を購入して、地域の障害者の方や高齢者の方の要望に応じて家庭を回ろうか?当園で実践している音楽療法を公民館などの場所をお借りして、地域の障害者の方や高齢者の方に楽しんでいただき、身体機能の維持・増進を図ったり、住民相互の関係性を持つていたかどうか?と、ここ数日模索しています。

もう6月下旬です。今年度内には公益的な取組だけでなく、社会福祉法制度改革のポイントである経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律強化等の具体的方法を整理し、定款変更等の作業を進めなければなりません。国には、なるべく早く定款準則を示してほしいものです(8月中と噂では聞いていますが・・・)。

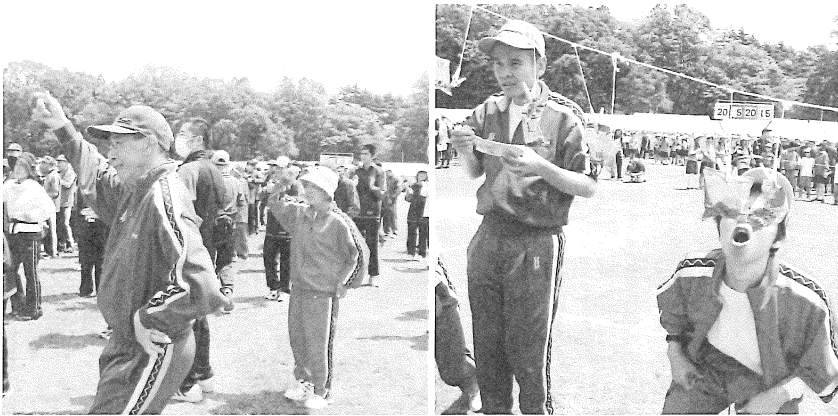
「私にできること」

生活支援員 横田裕梨亜

私は、小さい頃から障害を持った方と関わる仕事をしたいと思っていました。高校受験の時には、その夢に近い科のある学校を選び、高校でも福祉の勉強をしてきました。しかし夢が叶って福祉施設に就職してみると、思い描いていたものとは違う事もたくさんあり、自分はこの仕事に向いていないのでは、と、悩む事もありました。

小さい頃、あるドラマの影響を受けて、この仕事をしたいと思うようになり、それから、色々な施設を見学したり実習に行ったりして、目標にしたい職員の方に出会いました。ですが、私とその職員の方と同じようにやってもうまくいく事ばかりではなく、失敗ばかり。反省の日々でした。そんな時に先輩職員から「自分のペースで自分なりの支援方法を見つけてください」というアドバイスを受けてきました。私は経験が浅いですが、利用者さんから見ても若輩者です。そんな私が出る事って何だろう？と考え、思いついた答えは『笑顔』でした。
私にとって、利用者の皆さんの笑顔は元気の源です。利用者さんの皆さんはどんな時でも私に明るく素敵な笑顔を見せてくれます。そして、

「ありがとう」「うれしい」と、素直な気持ちを伝えてくれます。私にとってそれが元気の源であるようになってくれるような支援をしていきたいと思うようになりました。
その為には、まず私自身が健康でいなくてはなりません。生活習慣の見直しや、適度な運動、バランスの良い食事にも心がけ、毎日明るく元気な笑顔を、皆さんに届けていきたいと思っています。



青空の下でいい汗流しました！（ゆうあいスポーツ大会）

作業班だより

作業班担当 方波見信義

私たち作業班は、男性11名、女性3名の計14名で活動しています。主な作業は農作業で、色々な野菜を作っています。

今の時期、畑は雑草の全盛期で、日々除草作業に追われています。畑仕事で除草はとても大切です。雑草に養分が取られないようにすることで、野菜が大きく育つのです。その野菜を収穫し、きれいに洗い、選別します。一つ一つの作業がとても大事で、悪いものが混じると品質が下

がってしまふのです。

出来た野菜は主に厨房に納品し、施設の給食で出されています。皆さんがおいしいと言って食べてくれるのが作業班全員の喜びです。

また、私たちは施設行事の準備などでも活躍しています。行事の前には早い時期から道具の準備をして、段取りよく動けるようにしています。夏祭りの準備は迅速さが肝心。暑い中での作業になるので、少しでもスムーズにできるよう心がけています。これからも作業班は皆で力を合わせて皆様に美味しい野菜を食べていただけるよう、そして持前のパワーで楽しい行事にできるよう全力サポートで頑張っていきます！

医務室より

「熱中症にご用心！」

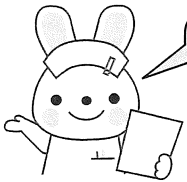
看護師 内田郁江

近年、熱中症にかかる方が増加しています。成人の場合、体内の水分量は体重の60%を占めていて、一日に2ℓ以上の水分が発汗や排泄などで体内から失われています。暑い時期は発汗量が増える為、失う水分量も増加します。ですから、喉が渴いていなくてもこまめに水分補給を心掛ける必要があるのです。

体内から失われるのは水分だけではなく必須ミネラルも同時に失われています。水分補給時には塩分を含んだイオン飲料や経口補水液等を摂ると良いでしょう。

一回に200mlの水分を、日中は2時間おきに摂るのが好ましいです。また、飲料を冷やしすぎると胃腸の働きを悪くし、下痢を起こす可能性もある為、なるべく常温に近い温度が適しています。

食事、運動、十分な睡眠で、規則正しい生活を送り、厚さに負けない体力づくりを心掛けてください。



グループだよ

★ひまわりグループ

『それぞれの役割く洗濯編く』

園では雨の日には洗濯物を乾かすのに大型乾燥機を使っています。朝の天気予報で雨模様の情報を見ると、まず大谷さんと細田さんが「今日は乾燥機使うの？」と職員に確認しに来ます。使いますよ、と答えると、そこから更に島田さん、池田さんも加わって、洗濯室内に干してある衣類をハンガーから外してくれま

す。乾燥が終わると、横山さんがすぐに知らせに来てくれて、衣類の入ったカゴを軽々と持ち上げていきま

す。私も手伝うよ、と、カゴを持つとうとすると「僕、一人で持ってい

ます」と、男前な一言が。乾いた洗濯物はみんなであたみま

す。たたんだ物をそれぞれの場所に持っていくのは宮淵さんと倉嶋さん。職員に洗濯物を見せて、誰のものが確認する、確実な仕事っぷりです。最後に、ハンガーを片付けてくれるのは川尻さんです。13人分の洗濯物のハンガーですから、数もそれなりです。一回では運びきれず、何往復もしてくれます。

みんなで支え合って、今日もひまわりさんは健やかです。(千代田)

★すみれグループ

『お花係さん』

すみれグループの食堂には、欠かさずある物が置かれています。それは、お花です。保護者の方のご厚意で頂いたり職員が持ってきた季節の花々が花瓶に活けられて飾られています。私はあまり花に詳しくはないのですが、「今日どんな花かな？」と、楽しみにしています。

そして、いつもその花のお世話をしてくれているのが茂木さんです。毎日を水を替え、枯れた花があれば取り除いて、綺麗に保ってくれています。茂木さんは「花はきれいだね。見ているとなごむね。」と言って、笑顔でお花係をしています。可憐な花に癒され、今年もたくさんの思い出と一緒に作りましょうね。(長岡)



雨 VS てるてるぼうず!!

★あざみグループ

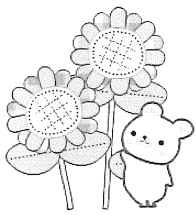
『ほっこりタイム』

坂本さんは仕事に対する姿勢がとても真面目で、時には仲間に仕事のコツを教えたりして、まさにグループのリーダー的存在です。

そんな坂本さんですが、たまに失敗もあります。坂本さんは午前中にパン工房梵天で作業に参加しています。作業の曜日は決まっていますが、まれにスケジュールが変わる事がありません。梵天に行かなくなる時は、必ず前日に伝えていきます。しかし、ある日の朝、坂本さんは梵天に行く準備をしてスタンバイしていました。今日は施設で過ごす日ですよ、と、伝えると「あ！そうだった！」と照れたように笑いながら着替えに居室に戻っていきま

す。それだけ梵天での活動に真剣に取り組んでいるという事なのでしょう。ですが、そのうっかりな姿が失礼ながらとてもチャーミングで、思わず口元が緩んでしまいました。そんな私の笑顔を

見て坂本さんもつられてにっこり。二人の間にひとときのほっこりとした時間が生まれました。この時間が、私にとっても大切な時間だと感じて



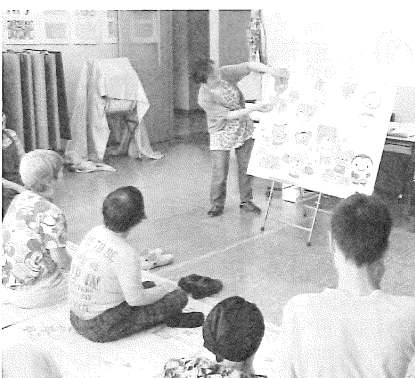
ています。(豊田)

★なでしこグループ

『ハートのヒミツ』

ある夜勤の夕方。「お願いします」と、元気な声と笑顔で柴田さんがノートを渡してくれました。それは、柴田さんとの交換ノートです。そこには、柴田さんの一日のいろいろな出来言が書いてあります。柴田さんが頑張ったことや感じたこと、一緒に生活していても気付かなかったことなども書いてあり、そこで初めて知る事もたくさんあります。先日のノートには、テレビで見たある番組のことが書かれていました。私はあまり詳しくなかったのですが、柴田さんから内容の説明を受け、影響されて興味をわきました。それからはその番組の話題で会話が盛り上がります。楽しい会話を二人だけのヒミツにしているのはもったいない！周りにも紹介して、皆で楽しくお話ししましょう！

(祐尾)



楽しいお話しありがとうございました。(読み聞かせボランティア)

